

山本はピザの注文をするために、ピザ屋に電話をかけた。

「ありがとうございます。ピザーラ山下町店です」

「注文をお願いしたいんですけど」

「ありがとうございます。それではご住所とお名前とお電話番号をお願いします」

「横浜市中区山下町四―七―二十七ノムラハイム七〇二号室の山本です。電話番号は、七八一―四七二二です」

「確認させていただきます。ご住所が横浜市中区山下町四―七―二十七ノムラハイム七〇二号室の山本様ですね。お電話番号が七八一―四七二二でよろしいでしょうか？」

「はいそうです」

「それでは、ご注文をお願いします」

「メガミートのLサイズを一つ、モントレーのLサイズを一つ、ミックスサラダを一つ、野菜コロッケを一つお願いします。それにピザの追加のトッピングが、メガミートの方に生ハムとネギ、モントレーの方には、マッシュルームとマヨネーズをお願いします」

「はい、かしこまりました。生地タイプは薄型のクリスピーと厚手のハンドトスがございますが、どちらがよろしいですか？」

「薄型をお願いします」

「かしこまりました。それから、ただ今キャンペーンをやっております、ピザMサイズで一本、Lサイズで二本、ドリンクをサービスさせていただいております。お客様の場合Lサイズ二枚のご注文ですので、ドリンクが四本サービスになりますが、いかがでしょうか？」

「どんな種類があるんですか？」

「ウーロン茶、アイスコーヒー、ファンタオレンジとマスカットの四種類がございます」

「では・・・アイスコーヒーを二本とファンタマスカットを二本お願いします」

「はい、かしこまりました」

「時間はどれ位かかりますか？」

「山下町四丁目でしたら、四十分位でお届けできますが、道が混んでいますと、もう少しお時間がかかるかもしれません。大体、二時位迄にはお届けできると思いますが、よろしいでしょうか？」

「構いません」

「かしこまりました。それでは、代金のほうが七、二二四円になりますので」

「あの、チラシの割引クーポン券は使えますか？」

「はい、ご利用いただけます。Lサイズのピザが二割引になりますので、後ほど代金と一緒にお出しください」

「わかりました。ではよろしくお願いします」

受話器を置いて数十分後、山本家のインターホンが鳴った。二時よりも大分早い配達に感心しながら、山本は玄関の扉を開けた。